



株主通信

(第61期中間事業報告書)

株式会社 千趣会

おかげさまで50周年

50th
SENSHUKAI CO., LTD.

株主の皆様へ

代表取締役社長

行待 裕弘
YASUHIRO YUKIMACHI



株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成17年6月30日をもって、第61期(平成17年1月1日から平成17年12月31日まで)の中間決算を行いましたので、ここに経営成績と共に事業の概況をご報告申し上げます。

目次	
株主の皆様へ	2
経営方針	2
当社グループの経営成績	4
当社グループのトピックス	8
当中間および過去3期分の連結要約財務データ(推移)	10
中間連結財務諸表	12
中間単独財務諸表	13
会社概要と株式のご案内	14

経営方針

1. 経営の基本方針

当社グループは、「良い商品」「良いサービス」をお客様に提供することを通じて、社会に貢献することを基本理念としています。

また、株主・顧客・取引先の皆様および従業員など、すべての関係者と共存共栄を図り、企業価値を高めることを行動の指針としています。

2. 利益配分に関する基本方針

当社グループは、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては、安定的な配当率の維持および適正な利益還元を基本としています。

内部留保金につきましては、新規事業の開発活動および既存事業の効率化を推進するための投資、財務体質のより健全化などに活用し、企業競争力と企業体質の更なる強化に取り組んでまいります。

3. 中期的な経営戦略

当社グループは、平成19年12月期(第63期)を最終年度とする『中期経営計画』を策定しております。

(1)『中期経営計画』の基本方針

① 中核事業の収益力強化

カタログ通販事業、特に20代後半から30代女性を中心顧客とした既存分野については無理な売上拡大は狙わず、収益力の強化に重点を置きます。

② 成長分野への積極投資

20代と40代への「顧客年齢層の拡大」と、インターネット・店舗への「チャネルの拡大」による売上成長を実現するため、積極的な投資を行います。

③ ブランド価値向上

「すぐとキメク、とてもワクワク」をスローガンとして、お客様の心に響く「ベルメゾン」になるための活動を全社員が徹底に行います。

(2)『中期経営計画』の当中間期における取り組み状況

① SCM(商品供給一連管理)の推進

・毎月進捗状況を確認し見直しを図っています。

② カタログ・ポジショニングの見直し

・それぞれのカタログのポジショニングを見直し、適正な顧客に適正なカタログを配布することによって媒体費用を削減。

③ 顧客基盤を20代と40代の幅を広げる

・20代・・・カタログ「プチベルメゾン」や新ブランド「カナリートロワ」を展開中です。
・40代・・・40代をターゲットとしたファッションとリビングのカタログを創刊予定です。

④ インターネット利用の拡大

・インターネット売上は、上期219億円(うち純ネット売上71億円、前年同期比22%増)となっています。

⑤ 店舗事業の展開

・7月に新たに「ベルメゾンマーケット大垣店」をオープンいたしました。

⑥ 商品企画・開発力の強化

・現在、強化のためのプロジェクトが進行中です。

⑦ サービスの強化

・5月よりギフトサービスを開始いたしました(包装紙やメッセージが選べます)。
・7月よりお支払いの代金引換サービスを開始いたしました。

(3) その他

当社は、日興プリンシパル・インベストメンツ(株)へ当社の自己株式340万株(発行株式の約7.14%)を譲渡いたしました。

同社は、中長期的な視点から投資事業を行っており、投資先各企業の経営をサポートしています。当社に対しても、株主の視点から建設的なご意見を頂き、当社経営に活かしていく方針です。なお、当該自己株式処分による収入金は、設備投資および運転資金に充当いたします。

■インターネット



<http://www.bellemaison.jp>

■店舗



ベルメゾンマーケット大垣店

■カタログ



当社グループの経営成績

1. 当中間期の概況

当中間期におけるわが国の経済は、雇用、賃金の改善により個人消費に明るさが見え初めておりますが、最近の原油高や輸出の停滞で企業が先行きに慎重になっており、「踊り場」からの脱却にはなお不安要因が残っております。流通業におきましても、雇用の回復や個人消費の改善を受けて売上も回復基調が見られます。通信販売業界におきましては、ネット通販企業や携帯通販企業、また健康食品・化粧品を扱う単品通販企業の売上は伸びておりますが、総合カタログ通販企業は伸び悩んでおります。このように競争環境が激化する中、価格競争や商品・サービスに対する消費者の選別が一段と激しさを増し、厳しい経営環境が続いております。

当社グループにおきましては、このような状況のもと、平成19年度を最終年度とする『中期経営計画』の初年度として、計画の重点戦略を推進しております。

当中間期の売上高は、742億95百万円(前年同期比3.9%減)となりました。一方利益面に関しましては、原価率の上昇により売上総利益率は減少いたしました。カタログ送料などの媒体関連費用や商品調達等の効率的運用により販売費及び一般管理費を削減いたしました。以上により営業利益は17億80百万円(前年同期比14.4%減)となり、また経常利益は、19億79百万円(前年同期比11.4%減)となりました。中間純損失につきましては、減損会計の早期適用により6億5百万円(前年同期比18億59百万円減)となりました。

〔株主への営業成績〕

当中間期の営業成績につきましては、売上高は736億63百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

利益面におきましては、原価率と物流変動費比率は上昇いたしました。媒体費などの販売費及び一般管理費の効率的運用による削減で、営業利益は12億49百万円(前年同期比21.2%減)、経常利益は18億48百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

また、中間純損失は33百万円(前年同期比12億88百万円減)となりました。

当中間期の(株)千趣会の利益配当金につきましては、当期の業績ならびに今後の経営環境等、諸般の情勢を勘案すると共に、安定的な配当の継続も重視いたしました。その結果、中間配当金は1株当たり8円としております。また今期当社は、11月をもって創立50周年を迎えます。つきましては、株主の皆様へ感謝の意を表すため、期末の普通配当金8円に加えて記念配当金2円を実施することといたしました。よって年間配当金は18円を予定しております。

2. 当中間期の事業別概要

〔通信販売事業〕

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当中間期の売上高は713億51百万円(前年同期比2.9%減)となりました。営業利益は18億16百万円(前年同期比10%減)となりました。

(1) カタログ事業



カタログ事業では、18種類のカタログを通して様々な生活提案と共に千趣会らしさにこだわった商品をお届けいたしております。

BELLE MAISON 昭和51年のスタート以来、ファッション衣料を中心として服飾雑貨、インテリア、日用雑貨からマタニティ用品、子供服に至るまでの様々なジャンルの商品をお届けし、ご支持を得てまいりました。

当中間期も、「すごくとキメク、とてもワクワク」のスローガンのもと、ファッションの基幹媒体である「私たちの暮らす服」の発行や各媒体のポジショニングの見直しを行っております。その結果、当中間期の売上高は610億円(前年同期比1.4%減)となりました。



■ 私たちの住まいと雑貨
インテリアや収納用品、家具やファブリック・コスメ・生活雑貨など毎日の暮らしに必要な商品をお届けし、ご支持を得てまいりました。



■ ホームベース
使いやすい機能性、無駄を省いたシンプル仕様、しかもセンスのいいインテリアやファブリックのオリジナルブランド。



■ ファッションプラス
オシャレやトレンドに敏感な20代女性に向けて、ファッション衣料や服飾雑貨を中心にセレクトショップ感覚で提案。



■ ママ&ベビー
マタニティライフを応援するカタログ。オシャレなマタニティウェアからインナー、フォーマルウェアまでバラエティ豊かに提案。

当社グループの経営成績

(2) 頒布会事業



頒布会事業は、オフィスで働く女性を中心に、グループおよび個人の会員に、毎月定期的に商品をお届けするという販売形態をとっており、他の通販会社とは異なる独自のシステムで事業を展開しています。

お届けしている商品は雑貨・食品を中心にコレクション性の高い、さまざまなアイテムを取り揃えており、そのほとんどは、市販の商品には見られないオリジナリティの高い商品です。

その中でも、手作りキット専門カタログ「大好き手作り号」、主婦の家事を助け、更に環境に配慮した暮らしに“いいこと”を提供するカタログ「いいことの素」など、頒布会ならではの新しい提案型カタログで、多様化する顧客のニーズに幅広く対応しております。それにより、個人会員においては徐々に成果を上げておりますが、グループ会員については減少を食い止めるまでには至っており、売上高・会員数共に前年同期比で減少という結果となりました。

当中間期の売上高は103億51百万円(前年同期比11.3%減)となり、月次平均会員数は69万50百人となりました。

※グルメ事業をカタログ事業から頒布会事業へ変更しており、変更後の数値により前年同期と比較を行っております。

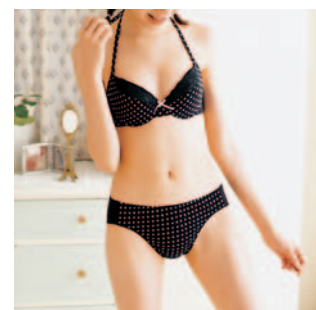
当期の主な新商品

- メイクヒップパンツⅢ
気軽に楽しく美尻をつくるガードルショーツ
- クリュエ
見えてもかわいいお洒落なデザインでアウターとのコーディネートも楽しめる新感覚のブラ&ショーツ
- リフレグ デザインハイソックス
季節に合わせた素材で冷えやむくみから足元をサポートする機能性ハイソックス
- 靴としっぽの物語
お気に入りの靴をしっぽでケアするキュートなマスコット型除湿消臭剤のシリーズ
- ちょこちょこ BOOK キャラクター雑貨シリーズ
満10歳をむかえる、ちょこちょこキャラクターが活躍するタオルハンカチやソックスなど雑貨シリーズ全9点
- 季節のお惣菜椀
季節のおいしい具材を盛りだくさんに使った和風メニューバリエーションを楽しめるスープシリーズ
- プレヴォア エターナル ルージュ
ピンクを主役にメイクアップアーティストと千趣会がプロデュースするミニルージュとメイクコスメをセットで

[その他の事業]

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と、運送事業および店舗事業、また法人向けの商品・サービスを販売する法人事業などを合わせた、その他の事業の当中間期の売上高は29億43百万円(前年同期比23.1%減)となりました。

その結果、営業損失は82百万円(前年同期比1億6百万円減)となりました。



●クリュエ



●ちょこちょこ



●季節のお惣菜椀



●プレヴォア エターナル ルージュ



●マンスリークラブカタログ

3. 通期の見通し

今後の見通しとして、日本経済は「弱さを脱する動きが見られ、緩やかに回復している」と判断されております。しかしながらデフレはまだまだ継続しており、今後の景気に関しましても慎重な見極めが必要とされております。そのため通信販売業界におきましても一層厳しい経営環境が続くものと思われまます。

今期の売上高は前期実績を約31億円下回る1,440億円と予想しております。利益面につきましては、経常利益は当初予想と同じ32億円、当期純利益は2億円の見通しです。

また不祥事の勃発や顧客情報の漏洩などを背景としてコンプライアンス(法令遵守)がますます求められてきています。当社でもコンプライアンス体制の構築と実行を経営の重要課題として推進してまいります。

今後とも、当社グループ一丸となって更なる企業価値の向上に全力を尽くす所存でございます。

株主の皆様方からの一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げる次第であります。

当社グループのトピックス

お客様の心に響くベルメゾンブランドの価値向上に取り組んでいます。

●「ベルメゾン」のシンボルマークを新しくしました

当社は平成17年11月に創立50周年を迎えます。「これからもより一層お客様の暮らしにとけこんで、毎日が楽しくなる“ハッピーの種”をたくさんお届けしていきたい」そんな思いを込めてこの度、ベルメゾンの新しいシンボルマークを導入いたしました。躍動感あふれる新しいシンボルマークは、BELLE MAISONの「B」をモチーフとして、今にも芽が吹き出しそうなトキメキの種をイメージしています。そしてベルメゾンがお届けする商品やサービスのひとつひとつがお客様の生活の中で発芽してどんどん育ってほしい、そんな気持ちを込めています。また、新しいシンボルマークの導入と共に、「すごくトキメキ、とてもワクワク」を社内スローガンに掲げ、お客様にお届けする商品パッケージやダンボール類、帳票類まですべてをより分かりやすく、より気持ちよく感じていただけるように見直しました。さらに、「ベルメゾンネット」も、7月からURLを<http://www.bellemaison.jp>に新しくすると共に、より見やすく、わかりやすく、使いやすくリニューアルしました。



BELLE MAISON

ベルメゾンの新しいシンボルマーク



イメージ統一したパッケージ類

新規顧客の拡大やサービスの向上を目的に業務提携先を増やしています。

●住友生命、ヤマダ電機、みずほ銀行などと業務提携

平成17年4月、当社と住友生命は共同で「スマセイベルポイントクラブ」を設立しました。これは住友生命が営業職員経由で契約しているスマセイベルポイントクラブ会員に提供するポイントをベルメゾンカタログの商品と交換できるシステムです。これによって住友生命は3万点を超える当社商品とポイントを交換することが可能になり、会員の利便性や優位性が大きく向上しました。一方当社は住友生命の営業職員ルートを通じて今後新規会員の拡大につなげてまいります。また、ヤマダ電機とは、①ヤマダ電機が発行するポイントカタログやWEBサイト上にベルメゾンのお買い物券およびカタログ商品を掲載②ヤマダ電機各店舗でベルメゾンの購入割引特典付きカタログを販売するといった内容の業務提携を5月から実施しています。また将来的に③ヤマダ電機が発行するポイントでベルメゾンの掲載商品が購入できるように現在検討中です。更に6月には、みずほ銀行の「みずほマイレージクラブパートナーズサービス」とも提携。お客様がベルメゾンのお支払いにみずほマイレージクラブカードをご利用されるとポイントが2倍になるサービスを提供しています。当社ではこのほかにもサービス向上を目的とした業務提携を行っております。



スマセイベルポイントクラブ

お客様に愛される理想のカタログを常に追求しています。

●衣料の基幹カタログ「私たちの暮らす服」を発刊

ファッション部門の強化を目的に、「私たちの暮らす服」を昨年12月に創刊しました。“着ることは、暮らすことの一部”という考え方をベースに、ひとりひとりのお客さまの日常に寄り添う服を300ページ以上にわたって豊富に品揃えしています。またこのカタログでは、しっかりした品質を納得のいく価格でお届けすることをモットーに、生活実感のある商品開発にこだわっています。更にほとんどの商品にSサイズとLLサイズを加えてサイズ展開を充実させると共に、お客さまモニターのご意見やご要望を商品づくりに反映させるよう取り組んでいます。創刊号では、5000円以上の購入金額でベルメゾンポイントの特別ポイントを付与する創刊記念キャンペーンを実施。計画を大きく上回る売上を達成しました。「私たちの暮らす服」は今後も衣料の基幹カタログと位置づけ、春夏号、夏号、秋冬号、冬号の年4回発行体制で、お客さまに愛されるオリジナリティの高いカタログを目指してまいります。



女性がいきいきと活躍できる企業を目指しています。

●女性コミッティ「Hana*maison (ハナメゾン)」を設立

当社では、女性社員の活躍を促進する取り組みの一環として、女性社員自らが意識改革・向上をはかっていく女性コミッティ「Hana*maison」を平成17年5月に設立いたしました。20代から40代の各部門のコアメンバー12名が中心になって運営。社長との意見交換や外部講師を招いてのフォーラムの開催などを行い、女性社員における仕事と家庭の両立やキャリアプラン立案のサポートを推進してまいります。



ハナメゾンロゴマーク

●子育てしやすい環境づくりを目指す行動計画を策定

従業員にとって子育てしやすい環境づくりを目指すため、平成17年4月から完全施行になった「次世代育成支援対策推進法(次世代法)」に基づく行動計画を策定いたしました。従来は1歳までだった育児休業制度を2歳の誕生日まで取得できるように改善を図ったほか、小学3年生以下の子供を持つ社員の短時間勤務制度の導入など、安心して仕事と出産や育児ができるサポート制度を充実させています。

当中間および過去3期分の連結要約財務データ(推移)

単位:百万円(単位未満切り捨て)

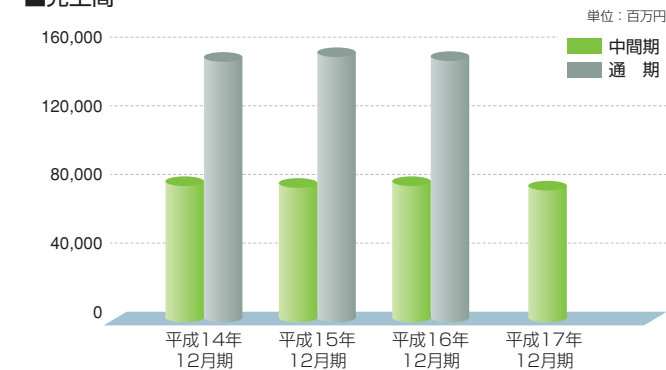
	平成14年12月期	平成15年12月期	平成16年12月期	平成17年12月期 中間期
売上高	147,100	147,607	147,159	74,295
営業利益	3,325	5,057	2,921	1,780
経常利益	2,039	4,041	3,033	1,979
中間(当期)純利益(△は損失)	1,366	1,819	1,231	△605
設備投資額	487	467	161	1,159
減価償却費	2,704	2,496	2,284	912
総資産	88,118	87,269	87,560	86,504
有形固定資産	31,660	29,705	28,236	26,743
純資産	46,585	47,183	47,135	49,558
有利子負債	871	709	514	496
1株当たり(単位:円)				
中間(当期)純利益(△は損失)	29.90	40.81	28.81	△14.04
純資産	1,056.52	1,105.80	1,122.20	1,086.49
株主資本比率(単位:%)	52.9	54.1	53.9	57.3
株主資本利益率(単位:%)	2.9	3.9	2.6	△1.3
株価収益率(単位:倍)	19.7	29.3	30.1	—

注:(1) △は損失を示します。

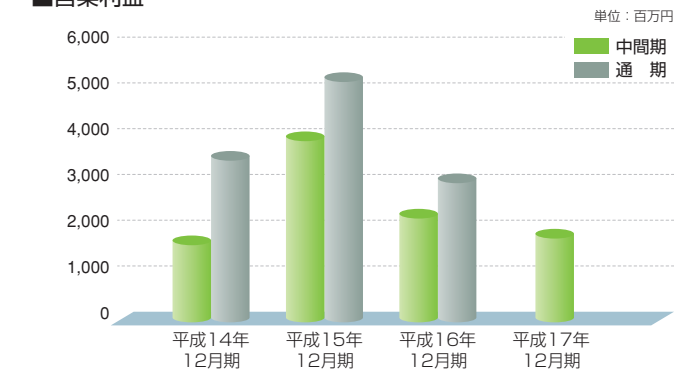
(2) 1株当たり中間(当期)純利益は期中平均株式数により、1株当たり純資産は中間期末(期末)発行済株式数により算出しております。

なお、期中平均および中間期末(期末)の株式数はそれぞれ自己株式数を控除して計算しております。

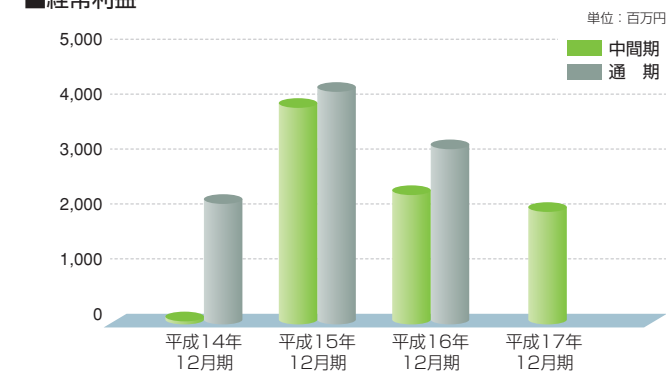
■売上高



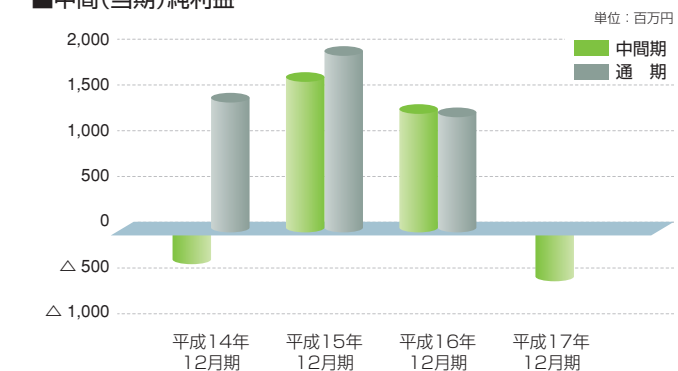
■営業利益



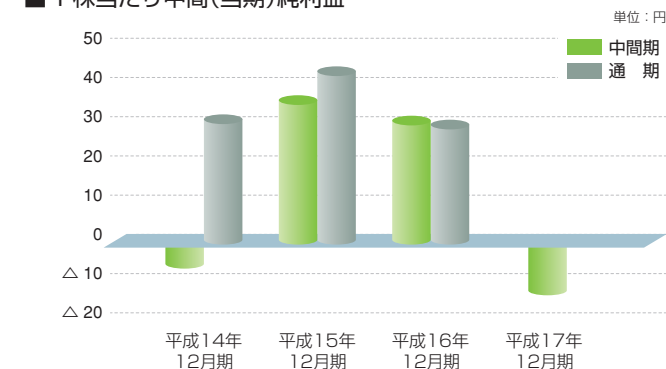
■経常利益



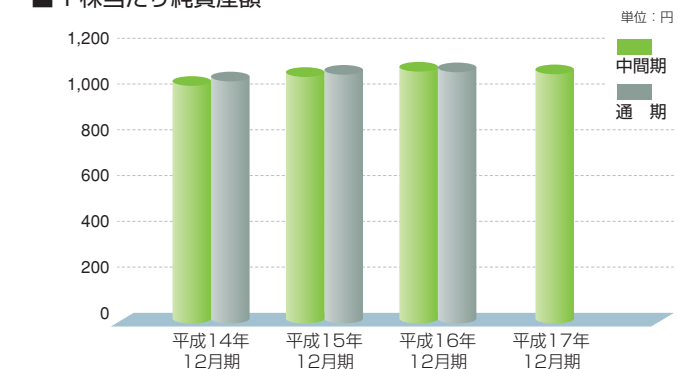
■中間(当期)純利益



■1株当たり中間(当期)純利益



■1株当たり純資産額



中間連結財務諸表

■中間連結貸借対照表

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	前中間連結 会計期間末	当中間連結 会計期間末	前連結 会計年度末
	平成16年6月30日現在	平成17年6月30日現在	平成16年12月31日現在
■資産の部			
流動資産	47,937	46,689	48,644
固定資産	39,778	39,815	38,916
有形固定資産	29,001	26,743	28,236
無形固定資産	1,384	1,215	1,163
投資その他の資産	9,393	11,856	9,516
資産合計	87,716	86,504	87,560
■負債の部			
流動負債	36,117	33,790	36,814
固定負債	3,479	3,112	3,563
負債合計	39,596	36,903	40,378
■少数株主持分			
少数株主持分	45	42	47
■資本の部			
資本金	20,359	20,359	20,359
資本剰余金	19,866	20,648	19,866
利益剰余金	19,734	16,881	19,372
土地再評価差額金	△ 8,911	△ 7,371	△ 8,911
その他有価証券評価差額金	302	416	219
為替換算調整勘定	△ 36	△ 37	△ 35
自己株式	△ 3,240	△ 1,337	△ 3,735
資本合計	48,074	49,558	47,135
負債、少数株主持分及び資本合計	87,716	86,504	87,560

■中間連結損益計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前連結 会計年度
	平成16年1月1日から 平成16年6月30日まで	平成17年1月1日から 平成17年6月30日まで	平成16年1月1日から 平成16年12月31日まで
売上高	77,334	74,295	147,159
売上原価	40,036	38,659	76,115
売上総利益	37,298	35,635	71,043
販売費及び一般管理費	35,217	33,854	68,122
営業利益	2,081	1,780	2,921
営業外収益	237	280	351
営業外費用	84	82	239
経常利益	2,234	1,979	3,033
特別利益	285	47	287
特別損失	201	1,869	790
税金等調整前中間(当期)純利益	2,318	157	2,530
法人税、住民税及び事業税	255	227	452
法人税等調整額	808	534	843
少数株主利益	1	0	2
中間(当期)純利益(△は損失)	1,253	△ 605	1,231

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前連結 会計年度
	平成16年1月1日から 平成16年6月30日まで	平成17年1月1日から 平成17年6月30日まで	平成16年1月1日から 平成16年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,803	705	2,989
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,046	△ 2,857	△ 1,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 670	2,797	△ 1,514
現金及び現金同等物の増加(減少)額	2,085	645	△ 259
現金及び現金同等物の期首残高	11,502	11,242	11,502
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	13,587	11,887	11,242

中間単独財務諸表

■(株)千趣会 中間貸借対照表

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	前中間 会計期間末	当中間 会計期間末	前事業年度末
	平成16年6月30日現在	平成17年6月30日現在	平成16年12月31日現在
■資産の部			
流動資産	44,974	44,040	45,355
固定資産	39,787	39,624	38,652
有形固定資産	26,454	26,020	25,716
無形固定資産	1,347	1,198	1,127
投資その他の資産	11,985	12,405	11,809
資産合計	84,762	83,665	84,008
■負債の部			
流動負債	35,373	32,783	35,761
固定負債	1,926	1,698	2,029
負債合計	37,300	34,482	37,790
■資本の部			
資本金	20,359	20,359	20,359
資本剰余金	19,866	20,648	19,866
利益剰余金	19,051	16,469	18,379
土地再評価差額金	△ 8,953	△ 7,413	△ 8,953
その他有価証券評価差額金	378	456	300
自己株式	△ 3,240	△ 1,337	△ 3,735
資本合計	47,461	49,182	46,217
負債・資本合計	84,762	83,665	84,008

■(株)千趣会 中間損益計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	前中間 会計期間	当中間 会計期間	前事業年度
	平成16年1月1日から 平成16年6月30日まで	平成17年1月1日から 平成17年6月30日まで	平成16年1月1日から 平成16年12月31日まで
売上高	76,256	73,663	144,942
売上原価	39,815	38,764	75,762
売上総利益	36,440	34,898	69,179
販売費及び一般管理費	34,855	33,648	67,153
営業利益	1,585	1,249	2,026
営業外収益	630	667	743
営業外費用	55	68	156
経常利益	2,160	1,848	2,612
特別利益	285	27	285
特別損失	371	1,395	1,077
税引前中間(当期)純利益	2,074	481	1,820
法人税、住民税及び事業税	15	9	27
法人税等調整額	803	505	870
中間(当期)純利益(△は損失)	1,255	△ 33	923
前期繰越利益	2,929	3,194	2,929
中間配当額	—	—	340
土地再評価差額金取崩額	—	1,539	—
中間(当期)未処分利益	4,184	1,620	3,511

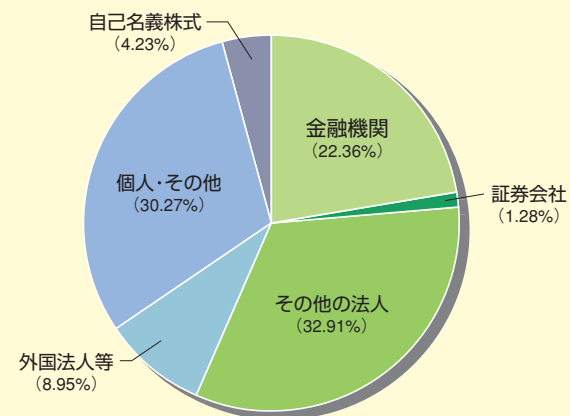
会社概要と株式のご案内

株式の状況

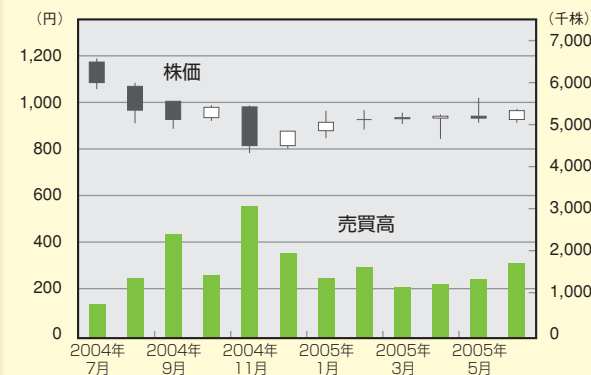
(平成 17 年 6 月 30 日現在)

会社が発行する株式の総数 180,000,000 株
 発行済株式の総数 47,630,393 株
 株主数 5,319 名

●所有者別持株比率



●株価／売買高推移



会社の概要

(平成 17 年 6 月 30 日現在)

商号 株式会社 千趣会
 英文名 SENSHUKAI CO.,LTD.
 本社 大阪市北区同心1丁目4番31号
 東京支社 東京都品川区東五反田1丁目21番13号
 ランディック五反田ビル
 設立 昭和30年11月
 資本金 20,359,134,244 円
 発行済株式総数 47,630,393 株
 従業員数 725 名
 連結従業員数 968 名
 ホームページアドレス <http://www.senshukai.co.jp>

関係会社

(平成 17 年 6 月 30 日現在)

- 主な連結子会社およびその事業内容
- 千趣会ゼネラルサービス(株)
 本社 大阪市北区
 旅行業・情報提供サービス業およびゴルフ場の経営
- 千趣運輸(株)
 本社 滋賀県野洲市
 貨物自動車運送業
- 千趣ロジスコ(株)
 本社 大阪市北区
 荷造梱包業
- 千趣会コールセンター(株)
 本社 千葉県印西市
 テレマーケティング業務の企画・実施
- (株)バルメゾン・サービスセンター
 本社 大阪市北区
 顧客対応サービスおよびエリアマーケティング

役員

(平成 17 年 6 月 30 日現在)

代表取締役社長 行待 裕弘
 専務取締役 野口 公俊
 専務取締役 堀井 紘一
 常務取締役 田川 喜一
 常務取締役 田辺 道夫
 常務取締役 澤本 荘八
 取締役 久保田 清
 取締役 藤由 和秀
 常務執行役員 鳥取 捷二
 執行役員 吉田 詔
 執行役員 大山 幸次郎
 執行役員 大塚 康弘
 執行役員 道城 学
 執行役員 広田 建次
 執行役員 峯岡 繁充
 執行役員 朝田 郁
 執行役員 中林 義博
 監査役(常勤) 佐野 誠
 監査役(常勤) 山岸 洋二
 監査役 羽間 平安
 監査役 小泉 英之

会計監査人

新日本監査法人
 大阪事務所
 大阪市中央区安土町2丁目3番13号 大阪国際ビル

株式のご案内

決算期 12月31日
 配当金 利益配当金受領確定日 12月31日
 中間配当金受領確定日 6月30日
 株主優待 権利確定日およびカタログの初回発送時
 12月31日…4月下旬初回発送予定
 6月30日…9月下旬初回発送予定
 カタログ掲載商品代金の割引(15%)
 (*一部、割引対象外カタログあり)
 株主総会 定時株主総会 3月
 臨時株主総会 必要の都度
 株主確定基準日 12月31日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して
 基準日を定める。
 公告の方法 日本経済新聞に掲載する。ただし、決算公告に
 代えて、貸借対照表および損益計算書を以下の
 ホームページに掲載しております。
<http://www.senshukai.co.jp/kessan>
 名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 住友信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒183-8701
 (郵便物送付先) 東京都府中市日綱町1番10
 (電話照会先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (住所変更等用紙のご請求)
 ☎0120-175-417
 (その他のご照会)
 ☎0120-176-417
 同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店
 1単元の株式の数 1,000 株
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
 大阪証券取引所市場第一部



〒530-0035 大阪市北区同心1丁目4番31号 電話(06)6881-3100
<http://www.senshukai.co.jp>



この冊子はリサイクルペーパーを使用しています。